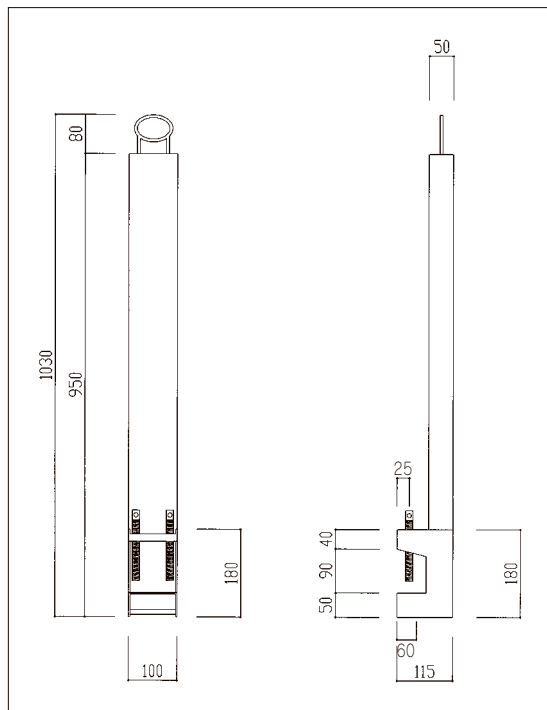


親綱支柱



高所作業の安全確保に!!

仕様



特長

鉄骨構造物の高所作業は大変危険です。

万一の事故も許されません。

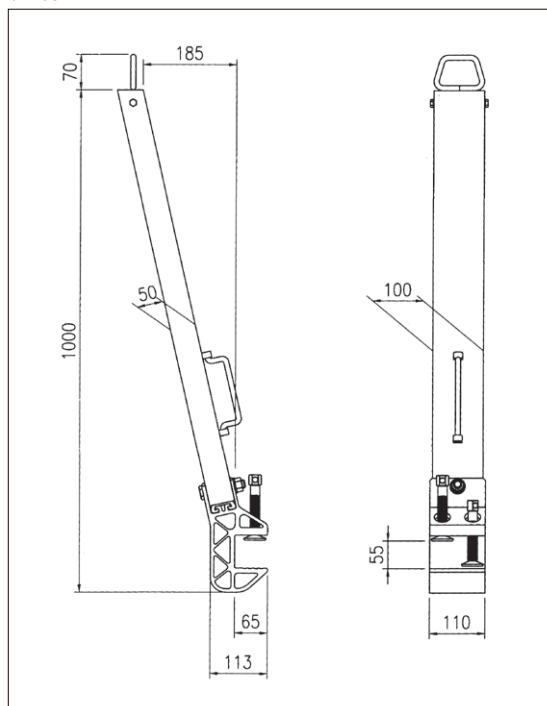
常に安全な作業を確保するために開発された商品です。

- ロープ掛け部に丸棒を採用しましたので、親綱ロープの損傷が少なくかつ扱い易くなりました。
- 角パイプ（100×50）一体型により軽量でコンパクトになりましたので、保管スペースが少なくなりかつ運搬経費を削減します。
- 押しボルトの2本採用で更に安全になりました。締付はラチェットレンチでも、シノでも行えます。
- 厚板の一体成形により強度抜群で変形が少なく、ほとんど補修を要しません。
- 皿バネの積み重ねにより振動を吸収し、鉄骨をガッチリ掴んで離しません。
- 挟み厚は0～80mmの広範囲です。
- 表面処理はドブメッキで、防錆効果は抜群です。
- 自重 8.5kg

親綱斜め支柱 (アルミ)



仕様



特長

●支柱に角度を設けることにより、親綱の位置が垂直の支柱より外側へ185mm広くなり、特に鉄骨フランジ幅の狭い小梁上での歩行を妨げず、安全通路の確保ができます。

●素材がアルミニウムなので6.3kgと軽量です。

●鉄骨フランジの厚さは、50mmまで使用できます。

使用上の注意

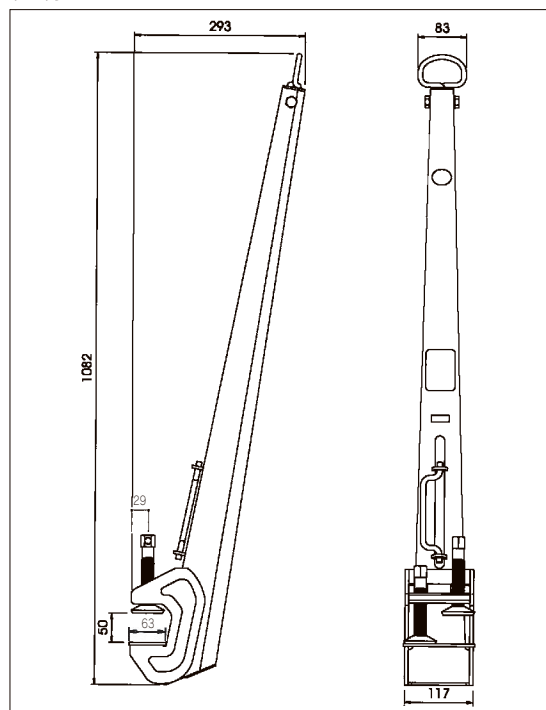
●親綱が支柱の取り付けた梁と必ず平行になるように使用して下さい。直角方向や交差する方向に張ることは絶対しないで下さい。

親綱斜め支柱 (スチール兼用型)



傾斜型／直交・平行兼用型親綱支柱

仕様



特長

- 直交・平行兼用タイプで、どの方向にでも使用できます。
- 支柱本体に角度を設けることにより、垂直の支柱に比べて親綱の位置が外側へ185mm広くなります。特に鉄骨フランジの幅の狭い小梁上での歩行が容易になります。
- 素材が鋼製にもかかわらず8.9kgと軽量です。
- 鉄骨フランジの厚さは、50mmまで使用できます。

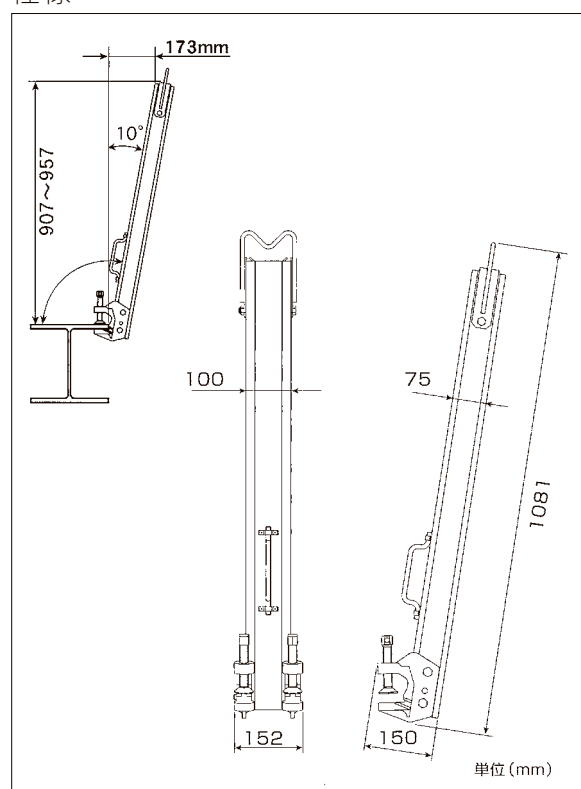
使用上の注意

- 鉄骨は支柱の奥まで鉄骨フランジに差し込み、締め付けボルトを十分に締めてください。(トルク:6kN・cm以上)
- 親綱支柱は鉄骨フランジに固定するときは、平行幅21mmのラチェットレンチ又はシノを使って締めてください。
- 親綱に安全帯を取り付ける場合は、安全帯のランヤードを親綱にまわし掛けをしないでください。
- 本来の用途、及び使用方法以外は使用しないでください。

親綱斜め支柱 (アルミ兼用型)



仕様



特長

- 直行・平行兼用タイプでどの方向にも使用できます。
- 支柱本体がアルミ製の為、7.6kgと軽量です。
- 親綱保持金具、取付金具は高強度獲物製で丈夫な構造です。
- 鉄骨フランジ厚さは50mmまで対応可能です。

使用上の注意

- 設置取付前に以下の事項を点検し、異常のないことを確認してください。もし異常があった場合は使用しないでください。
 - ①各部材の変形、亀裂、磨耗等の有無。
 - ②取付金具等、取付金具の作動の異常の有無。
 - ③緊張器の機能の異常の有無。
- 隙間がなくなるまで鉄骨フランジに支柱取付部を差し込み、固定ボルトをしっかりと締め付けてください。【トルク6.00kN・cm (612kgf・cm以上)】
- 支柱のスパンは10m以下としてください。
- 支柱を設置した作業床と衝突の恐れのある床面、または機械設備等との垂直距離 (H) に応じて使用できる支柱のスパン (L) は $L = 4(H - 3)$ m とします。ただし、Hは3.8m以上を確保してください。
- 必ず、1スパン1人で使用してください。